

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

SEITOKU FLASH



聖徳フラッシュ

第105号

令和元年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ

<http://www.seitoku.jp/>



正門アーチ



保育者のたまごのカーニバル(保育科)



東京五輪音頭-2020-

令和元年度秋期聖徳大学大学院入学式を、九月二十一日(土)九時半より香順メデアホールにおいて挙行しました。

学長告辞において川並弘純学長は「Gociety 5.0を前に急速に物事が動いていく現代においても重要なのは、人としてどうあるべきか。先進的研究や社会的成果だけにとらわれず、私たちは常に人として互いに支え合って生きていることを忘れないでほしい。聖徳大学大学院で今の自分よりもさらに成長できるよう期待しています」と歓迎の言葉を述べました。秋学期入学生



聖徳大学大学院入学式

学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学部卒業証書学位記授与式を川並香順記念講堂で執り行いました。大学院九名(うち博士の学位取得者二名)、大学七十八名、短大十五名、計百二名に学位記、卒業証書学位記が授与され、川並弘純学長は「社会に存在するのは唯一無二の答えだけではありません。多くの価値観があることを知り、知識や知見を広げてください。自ら考え、自らの責任で日々邁進してください」とはなむけの言葉を贈りました。



川並弘純学長の告辞

十一月十六日(土)・十七日(日)、第五十五回聖徳祭を行いました。今年度のテーマは「巻き起こせ感動を！私たちが創る新時代」。

学生から募集した聖徳祭ポスターは三十二点の作品が寄せられ、学友会(自治会)役員と聖徳祭委員を務める教員が選考した結果、総合文化学科二年の作品が選出されました。選出されたポスターは、松戸駅周辺の商店街の協力により多くの店舗に掲示され、学内外

が聖徳祭に向けて活気づいていきました。

聖徳祭当日は天候に恵まれ、青空の下で行った野外ステージ発表をはじめ、学生たちは日頃の活動や研究の成果を発揮しました。

短大総合文化学科の「千産千商」では、フード・調理ブランドの学生が企画・開発し、地元和菓子店「峰月」で商品化した「ときめく♡どら焼き」や「万葉軒」で商品化した「あじさいねろック」を販売しました。

昨年度好評であった「松戸市名店コラボ企画」では、昨年度出店した松戸市内の人気飲食店「中国料理 天廣堂」と「和菓子所 八矢庵」に加えて、「日本料理 し の」



学生が企画・開発した「あじさいねろック」は大好評(総合文化学科)

二日目には二〇二〇年東京五輪に向けて、松戸市と連携して、特別企画「スポーツの力でつながろう」を実施しました。児童学部の百瀬定雄教授が講演したほか、岡崎朋美氏(本学客員教授)、西山淳哉氏(一般社団法人パルシップ代表理事)、平川孝広氏(社会福祉法人彩会ザビー・ドゥ)の三名を招きパネルディスカッションを行いました。

どの会場も多くの来場者でにぎわい、二日間とも大盛況でした。



中夜祭

令和元年度秋期の入学式・卒業式を挙行

大型商業施設「テラスモール松戸」に大学が開発に協力した「キッズスペース・ロコロコ」がオープン

十月二十五日(金)にオープンした大型商業施設「テラスモール松戸」の三階に、産学連携による「キッズスペース・ロコロコ」が誕生しました。本学児童学科と社会福祉学科の学生・教員が開発に協力し、コンセプトづくりから設置する遊具に至るまで、細部にわたって企業と検討を重ね、たくさんのかたわりの詰めたキッズスペースです。

この「ロコロコ」という名称も、本学の学生が名づけました。「ローカル」という意味と、子ども・お母さん・お父さんに「ロククオン」の



松戸の特産である梨の木をイメージしてデザインし、太い幹を境にして、知育玩具で遊んだり絵本を読める「ゆったりゾーン」と、ソフ

●テラスモール松戸
千葉県松戸市八ヶ崎
2-8-1
ホームページ
<https://terasemall.com/matsudo/>

るよりすぐりの絵本が並び、床面はかわいらしい動物パネルになっています。

聖徳の研究・学びを生かして、さまざまな学術的な裏付けによって完成したキッズスペース・ロコロコ。今後は、親子のためのイベント開催などにも活用されていく予定です。

千葉県立松戸向陽高等学校と 高大連携に関する協定を締結



協定を交わす川並弘純学長(右)と奥山眞壽美校長

聖徳大学ならびに聖徳大学短期大学部は、十月一日(火)、千葉県立松戸向陽高等学校(奥山眞壽美校長)と高大連携に関する協定を締結しました。

松戸向陽高校は、千葉県教育委員会の県立学校改革推進プランの第一次実施プログラムにおいて、県全体の福祉教育の充実を図るための福祉教育の拠点校と位置付けられています。今回の協定締結は、高校と大学の相互交流・連携を通じて高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学の求める学生像お

よび教育内容への理解を深め、かつ高校教育・大学教育の相互理解を深めることを目的とするものです。締結式で川並弘純学長は、「大学、高等学校と学校種は違うが、互いのノウハウを共有しながら成長していきたい」と期待を寄せました。奥山校長は、「生徒の教育、そして教職員のスキルアップに向けて、また今後の福祉社会がプラットフォーム化していく中で、専門職を携えた生徒たちが地域で活躍できるように育てていきたい」と意気込みを見せました。

九月十五日(日)、松戸中央公園で「アートパーク12(伝説のこども魂)」(聖徳大学児童学研究所・生涯学習研究所主催)を開催しました。二度の雨天延期にもかかわらず千名を超える親子が集まり、学生とアートな遊びを楽しみました。

今回は、十二のワークショップが公園各所で行われました。学内からは、児童学科のゼミ(大成ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、祓川ゼミ)、美術部、保育科から二団体(北沢Gr、永井Gr)が参加しました。地域団体(保育園きぼうのたから・つばさ、まつど工房、じゅんびしつ、ハーマニー、まちづくり会議等)も楽しい企画を実施しました。



「パレード～自分だけの音を作りだそう!!～」

アートパーク12

「伝説のこども魂」

高田 千明 客員教授が 東京パラ代表に 内定



パラ陸上世界選手権二〇一九女子走り幅跳び(視覚障がいT11)の決勝が十一月九日(土)にアラブ首長国連邦(UAE)のドバイで行われ、本学児童学科客員教授の高田千明氏が四メートル六九の日本新記録で四位に入り、東京パラリンピック代表に内定しました。

今後のさらなる活躍を皆で応援しましょう。

栄養士養成や業務発展において多年にわたり貢献したことにより、本学の教員が次の表彰を受けました。

表彰

令和元年度
栄養関係功労者厚生
労働大臣表彰



聖徳大学
人間栄養学部
今井 悦子 教授

令和元年度
千葉県栄養改善大会
における栄養改善関係
功労者知事表彰



聖徳大学
人間栄養学部
須永 美幸 教授

令和元年度
千葉県栄養改善大会
における優良栄養士
表彰



聖徳大学
人間栄養学部
川村 千波 准教授

第二次「関根賞」 第十四回を受賞

著書『摂関期女房と文学』
(平成三十年四月 青簡舎)
※平安文学・語学研の女性研究者の
著作に対して授与される。



聖徳大学
文学部
諸井 彩子 准教授



「ドリームダンボ」

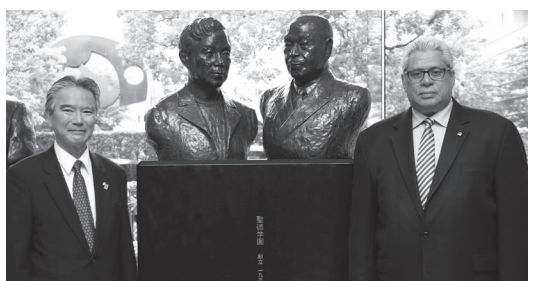
ワークショップでは、段ボールで作った大きなゾウの下で絵の具遊びをする「ドリームダンボ」(大成ゼミ)や、空き箱で動物を作る「どうぶつぶつぶ」(北沢Gr+きぼうのたから・つばさ)、自分で作った楽器を演奏しながら公園内を練り歩く「パレード～自分だけの音を作りだそう!!」(関口ゼミ)などを行いました。また、児童文化コース一年生が授業で作った「かぶり寿司」やロボットも好評でした。

今後も地域と連携しながら、公園を核に松戸のエネルギーが集結するプロジェクトとしてさらに発展させていきます。

ドミニカ共和国大使が 本学を表敬訪問

九月十八日(水)、ドミニカ共和国のドミンゲス大使が本学を表敬訪問しました。同国は、松戸市が東京五輪におけるホストタウンを務めており、児童学科スポーツ健康コースをはじめとして本学の教員・学生ともさまざまな交流があります。

大使は、聖徳学園建学記念館、川並弘昭記念図書館、聖徳博物館などの施設見学し、「素敵な学びの園である」と話していました。東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらに機運が高まった一日となりました。



ドミンゲス大使(右)=創立者の胸像前にて

ルーマニアの陸上競技選手、 ボボーチャ選手と学生が交流

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、松戸市はルーマニアとドミニカ共和国のホストタウンに指定され、さまざまな交流が行われています。

十月十一日(金)、ルーマニアの陸上一五〇〇メートル走、クラウディア・ボボーチャ選手を招き、「ホストタウン選手を招き、ホストタウン交流会」を実施しました。日本ルーマニアスポーツ文化交流協会、松戸市関係者、本学教員および学生が多数参加しました。

ボボーチャ選手は、IAAFダイヤモンドリーグ(七月、ロンドン)を経て、東京オリンピックへの出場が決定し、現在は国際大会を中心に出場しています。東京オリンピックでメダルを取ることが目標と話しており、学生からは普段の練習方法などについて多くの質問がありました。学生が歓迎の歌や折り紙のくす玉をプレゼントすると、ボボーチャ選手からは直筆サイン入りカードが一人ひとりに贈られました。思いがけない贈り物に、学生にとっても忘れられない体験となりました。



クラウディア・ボボーチャ選手

その後、作法室に場所を移し、茶道部がお茶を振る舞いました。ボボーチャ選手は、作法について積極的に質問し、高い関心を示していました。



みんなで応援しましょう!



お茶を点てる様子に興味津々

第三回 高校生の体験発表会

十一月二日(土)、本学主催による第三回「高校生の体験発表会」を聖徳大学香順メディアホールで開催しました。今年は、高等学校四十七校と中学校五校の計五十二校から総勢百七十二名が参加し、五十三の発表とビデオ映像一つがありました。

この体験発表会は、多様な学校や学科の枠を超えた交流を通して高校生や中学生の教育活動がさらに深化することを目指しています。発表内容は、地域社会との連携、防災教育とボランティア活動、充実した理科教育、小学生と高校生の授業交流、海外留学等から得

次代を担う若者の学びの場となり糧となる教育環境の整った聖徳大学は、今後もその教育力を高校生や中学生等に提供し、地域に根差した高等教育機関として社会の期待に応えていきます。



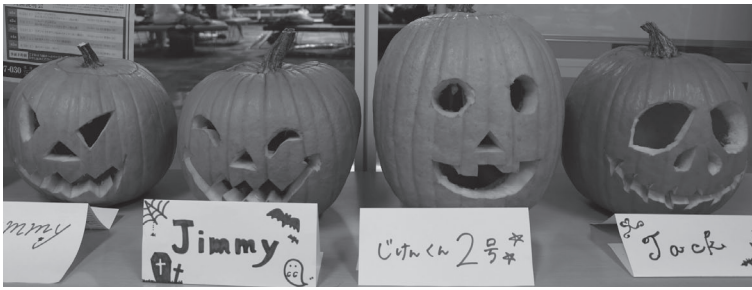
聖徳大学長賞(午前の部)の千葉県立東葛飾高等学校



聖徳大学長賞(午後の部)の千葉県立葉園台高等学校

語学教育センターだより

ハロウィーンパーティー



カボチャをくり抜いて「Jack-o'-Lantern」の出来上がり

十月二十五日(金)、語学教育センターではハロウィーン・パーティーを行いました。このイベントは、より多くの学生に語学教育センターを身近に感じてもらうこと、今後の利用につながることで職員も一緒に楽しむことでコミュニケーションの場を作ることを目的として、毎年行っています。



Happy Halloween!

菓子やスナックを楽しみました。教員も、毎年何に仮装するかを悩ませながら、思い思いのコスチュームで参加しました。

午後、ピーター・ヴェインセント教授の司会で、英語で絵を当てる「Pictionary」ゲームを行い、優勝チームはかわいらしい商品とお菓子を勝ち取りました。

総合文化学科だより

地元松戸市各地のお祭りに参加して

短大総合文化学科では、地域貢献活動の一環として、グループごとに松戸市のお祭りに参加しています。

九月二十八日(土)・二十九日(日)に開催された岩瀬まつりには、図書館司書・メデアブランチの二年生、図書館司書・ITコースの一年生が参加しました。二年生は初めて屋台を任せられ、自ら制作した絵本『南総昔話・民話集』の展示や手作りの「枝豆クッキー」の販売を行いました。クッキーは完売し、絵本にも多くの子ども達の関心を集まりました。学生は着ぐるみを着てパレードにも参加しました。

十月五日(土)の「松戸まつり」には、現代教養ブランチとファッションブランチの二年生、ファッション・造形デザインコースの一年生が参加しました。事前に子どもたちからトートバッグ(お弁当バッグ)のデザイン画を募集してコンテストを実施し、その入賞作品を二年生が手作りました。応募総数は三二八件



「お弁当バッグに夢を詰め込んで」デザイン画受賞者(松戸まつりにて)

で、その中から八点を制作しました。お祭り当日は、バッグを持った子どもたちと引率役の学生がステージに上がり、ファッションショーを開催しました。

と図書館司書・ITコースの一年生が参加し、会場内で手作りのスタンプラリーを実施しました。小雨が降る中でしたが、子どもから大人まで多くの来場者が参加しました。



小金宿ぶらり市

研究所リレー連載

所長の伝言板 第35回

心理教育相談所

講演会

「保護者との関係をどう作るか」

心理教育相談所は、地域住民の心の健康に寄与するため、日頃からさまざまな講演活動を行っています。九月二十一日(土)に、聖徳大学生涯学習社会貢献センターにて「教員のための心理学講座Ⅳ 保護者との関係をどう作るか」普通の人をモンスターにしてしまわないために」を開催しました。



北村世都准教授

二〇一七年からスタートした教員のための心理学講座は、今回で第四回目を迎えました。今回は、教員であれば誰もが関わる「保護者」の心理学をテーマに取り上げ、心理学の北村世都准教授が講師を務めました。

まず、保護者の話の聴き方や、保護者対応に必要な面接技術について解説しました。北村准教授によると、教員は第一に保護者の感情を理解するように努めることが大切だそうです。そのために必要なこととして、説明や説得より先に保護者の訴えを十分に聴くこと、相

手の良い面をフィードバックすることなどを挙げました。

後半は、模倣事例によるケースメソッドが導入され、自分であれば実際にどのような対応をするか、参加者同士の間で意見が交わされました。講座で学んだことを生かした意見も多く発表され、活発な事例検討がなされました。



充実した心理学講座となりました。

(聖徳大学

心理教育相談所長

山口 豊二)

募金だより

後世への思い つながる

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」

オリンピックやパラリンピックに関するニュースを目にする機会が増え、来年の東京での開催に向けて盛り上がりを見せ始めています。日本人女性が初めてこのスポーツの祭典でメダルを取ったのは、一九二八年のアムステルダムオリンピックのことでした。人見絹枝さん(陸上女子八〇〇銀メダリスト)は当時、海外女子選手の恵まれた練習環境

を目的の当たりし、日本との違いに「自分の後に続く人たちのために」と奮起したそうです。

聖徳にも、後世に続く学

生のためにと思いを募らせ

た卒業生が多くいました。

その思いを形にしたのが

「聖徳大学香和会五十周年

記念奨学基金」です。大学・

短期大学の卒業生で構成

される香和会は、会の発足

五十周年を機に、会員やそ

の卒業生の思いから始まっ

た本基金は、これまで香和

会員を中心に協力をお願い

してきましたが、バトン

をつなぐように末永く続く

支援として大きく育ててい

くため、広く皆さまにご協

力をお願いいたく、ここに

ご案内いたします。

「聖徳教育學術振興募金」寄付者芳名一覽

ご協力ありがとうございます

●法人役員関係

山口 富彌 様

一〇〇,〇〇〇円

●大学後援会関係

三〇,〇〇〇円

鈴木 義行 様

三〇,〇〇〇円

●香和会関係

一〇,〇〇〇円

松本 眞佐美 様

松本 瑠蘭 様

一〇,〇〇〇円

匿名希望者合計

(五、〇〇〇円)

●合計

一件 五、〇〇〇円

●累計

二六件 三三、八三三、五〇〇円

●教職員関係

一〇〇,〇〇〇円

川並 珠緒 様

一〇〇,〇〇〇円

●その他

一〇〇,〇〇〇円

高橋 英雄 様

一〇〇,〇〇〇円

匿名希望者合計

(五、〇〇〇円)

●合計

七件 三五五、〇〇〇円

●累計

二五九件 四八、二五〇、八四一円

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覽

(五、〇〇〇円)

匿名希望者合計

一件 五、〇〇〇円

●累計

二六件 三三、八三三、五〇〇円

●お申し込み・お問い合わせ先

東京聖徳学園 募金課 TEL.047-3665-1111(代)

ホームページアドレス <http://www.seitoku.jp/bokin/>

聖徳 募金

検索

第二回 選書ツアーを開催しました

開催しました

九月二十九日(日)、昨年に続き学生による選書ツアーを三省堂書店神保町本店で開催しました。目的は、大学図書館の蔵書構成に学生の意見を反映させることです。参加学生は九名。ツアー

に先立ち、同書店千葉営業所高橋謙介さんから選書に当たったの注意事項やご自身が書店員になった経緯についての興味深いお話を伺いました。その後、日曜でかなり混んだフロアで、お客さまの邪魔にならないように気をつけながら選書を行いました。選書できる時間は、九十分でしたので、一階か



選書中は真剣そのもの

図書館員にとって、選書の仕事はとても重要です。新聞などの書評に目を通し、頻繁に書店に足を運んで目利きになることが求められます。ツアー後のアンケートに、「多角的な視点で考えながら選ぶことができ、楽



三省堂神保町本店にて

文学部卒業生がエッセイストデビュー

本学文学部の卒業生(平成二十九年卒)が、忍足みかんの作家名でエッセイストとしてデビューしました。初のエッセイ本『#スマホの奴隷をやめたくて』(文芸社、二〇一九年)は、スマートフォンの便利さに夢中になるにつれ、スマホ依存症に陥った作者自身が、さまざまな危機に直面したことを機にスマホ中心の生活から脱却し、充実した日常生活を取り戻していくまでの体験をもとに書かれました。十一月より全国の書店で発売中です。



忍足みかん 23歳スマホ依存症、今日ガラケーに帰ります。

聖徳大学人間栄養学科

学生考案のレシピが商品化

「松戸白宇宙かぼちゃの濃厚クリームプリン」



とろけるような食感が特徴の宇宙かぼちゃプリン

本学人間栄養学科四年南楚有貴さんがレシピを考案したスイーツ「松戸白宇宙かぼちゃの濃厚クリームプリン」が商品化され、松戸駅前の商業施設「キテミテマツド」のフードコートにて、十月二十六日(土)から十一月十日(日)までの週末限定で販売されました。



南楚さん(左)と、商品化に携わった(株)ビケンテクノの浦野さん

同スイーツは、南楚さんが一年次に応募した「第五回松戸白宇宙かぼちゃレシピコンテスト」(一般社団法人松戸白宇宙かぼちゃの会主催/二〇一六年開催)において、奨励賞を受賞したものです。

突然の商品化の知らせを受けて驚いたという南楚さん。「宇宙かぼちゃの素朴な

甘みを引き立てるよう、上白糖ではなくてんさい糖を使用した」と工夫した点について話し、「販売までの過程を目の当たりにし勉強に

なった。将来は商品開発に携わり、多くの人に喜んでもらえる製品を作りたい」と夢を語りました。

大学・短期大学部

後援会支部総会・保護者会

活動報告

後援会支部総会および保護者会は、北海道から九州・沖縄まで全国十一支部で毎年行われます。プログラムのうち「卒業生による体験発表」は保護者に特に好評の企画です。今号では九月、十月に開催した会の中から、二名の卒業生の発表を紹介します。

滝口絢女さん(東北(南)支部、平成三十一年三月短期大学部保育科卒業)は現在、福島県白河市立ひがし保育園で公立保育士として勤務し、二歳児クラスを担当しています。本学の公務員対策講座の充実や教員・キャリア支援課職員の手厚いサポートにより、希望する



滝口絢女さん

なことも多かったが、友人や家族の支えがあったからこそ困難を乗り越えられた」と振り返りました。

川野日菜さん(甲信地区支部、平成三十一年三月看護学部卒業)は現在、慶應義塾大学病院(新宿区)で看護師として勤務しています。小笠原流礼法教育やハワイ大学での海外研修など、在学中の学びが現場で役立つ



川野日菜さん

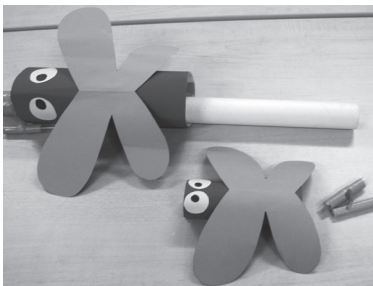
活動では、多くのインターンシップに参加したことや、教員やキャリア支援課の支援を受けて履歴書の書き方や面接への対策を講じたことを話し、「悔いのないよう充実した学生生活を楽しんでほしい」と後輩へのエールを送りました。

実習体験からの学び

十月中旬から下旬にかけて、卒業前の最後の実習として一部二年生と二部二年生は「幼稚園実習Ⅱ」を、二部三年生は「保育所実習Ⅱ」を実施しました。

実習前の学生たちの不安の一つに「責任実習(全日行実習)」があります。発達に応じた教材を考える時など、「喜んでくれるかな」「話が伝わるかな」と不安に思うようです。そこで実習前指導では、指導案作成と同時に体験的な学びを重視した模擬保育を行っています。

ある学生は、「飛ベトンボ」の見本を大きく作るなど、子どもたちにとって見やすくなるよう、視覚教材を工夫していました。



「飛ベトンボ」の制作

この模擬保育では、気付いたことや工夫していること、伝え方などを学生同士で評価して改善に生かすようにし、互いに学び合うことも大切に行っています。



模擬保育の様子

附属女子中学校・高等学校

令和元年度第三十七回体育祭を終えて

十月十四日(月・祝)、第三十七回体育祭を行いました。今年度の体育祭は、直前に台風十九号に見舞われたため、翌日順延かつ当日も雨天により体育室での実施となるなど、多くの変更を余儀なくされた中での開催となりました。

練習期間初日の十日(木)午後、台風による影響を考慮し、選手種目競技のみ事前に実施して、その得点を体育祭当日に加算する等の特別措置を取ることにしました。選手種目は一〇〇以上の

競走、二〇〇メートル競走、色別対抗リレーおよびクラス対抗リレーです。急な変更にもかかわらず、生徒の取り組みは真剣そのもので、教員も緊張感を持って運営に当たりました。

聖徳祭 中学校英語劇コンテスト

九月二十八日(土)、二十九日(日)、「井蒼×春」をテーマに第三十七回聖徳祭を開催しました。今年度は二日間とも一般公開し、多くのお客さまが訪れました。中でも初日に実施した「中学校英語劇コンテスト」は、大変好評でした。

今年度新設されたS探究コースとLAコースでは、一年生の台本を新たにし、S探究コースは「The Restaurant Wild Cat House」、LAコースは「The King is Coming」を発表しました。また、二年生は「Peter Pan」、三年生は「Cinderella」を発表しました。上級生は昨年までの経験を生かして、素晴らしい劇を完成させました。

六月から台本の読み合わせや配役決めを行い、夏休み中に大道具や小道具を制作しました。九月に実施した北葦科高原体験学習の合同練習でも、学年を超えて互いにアドバイスをしながら、本番に向けて練習を積み重ねてきました。本番直前は緊張した様子でしたが、舞台上ではどのクラスもリ

「今日は手順がよく伝わってきた」「手が震えていたけど笑顔で頑張ったね」などと、共に学び合う仲間と認め合うことで自信をつけていきます。

実習を終えて一回り大きく成長した学生たちは今、自信に満ち溢れています。実習を契機に、就職活動に向けて張り切る姿も見られます。授業でも実習で得た学びの宝物を意見として発表したり、今まで以上にピアノを練習したりするなど、保育者への道を意識した態度が感じられます。



の参観も多く、大きな拍手が生徒たちの励みになりました。結果は赤組の優勝、応援合戦も赤組が勝利し、昨年の雪辱を果たしました。準備不足による混乱も多々ありましたが、全生徒・全教職員が一つになり、大きな行事を終えることができました。



ハールを上回るパフォーマンスを見せ、これまでの練習の成果を発揮していました。最優秀賞には三年A組、優秀賞には二年B組が選ばれました。特別賞は、シンデレラの継母役で素晴らしい演技が光った青木葵さん(三年B組)に贈られました。一所懸命に覚えた英文は、何年たっても忘れません。この経験をこれからの英語学習に生かしてくれることを期待しています。

幼児教育専門学校

聖徳にこにこまつり(文化祭)を開催

十一月三日(日・祝)、本校と三田幼稚園合同の聖徳にこにこまつり(文化祭)を開催しました。当日は、卒業生、高校生、園児と保護者、地域住民など約千五百名の参加者で校舎内・園庭が溢れるほどにぎわいました。

当日に向けて一年生が集中して取り組んできたものがあります。一つ目は、「児童文化」の授業で学んできた「人形劇」の披露です。観客



人形劇を披露



おさかな何匹釣れるかな?

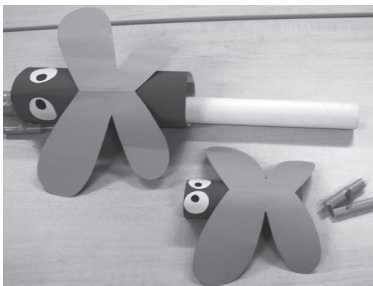


来場者が楽しくなる飾りつけ

席は未就園児を含むたくさんのお客さまで満席になりました。学生は子どもたちの前に立ち、手遊び等を取り入れながら惹きつけていきました。子どもたちが大声を出して応援したり笑ったりする反応を見て、演じた学生も感動の連続でした。



前日まで文化祭準備を頑張りました



「飛ベトンボ」の制作

附属小学校

「いつまでも、いつまでも」

～「木登りの樹」とのお別れ会～



在りし日の「木登りの樹」

台風十五号の影響で、本校のシンボルであった校庭の「木登りの樹」が倒れまし
た。開校以来三十三年と五
カ月余り、聖徳の子の遊
び場となったり、優しい木
陰をつくってくれたりした
だけに、残念がる声が多く
寄せられました。
「木登りの樹」といっても、
垂直に伸びた樹ではなく、
ほぼ水平に伸びた幹が特徴
的な、秋楡の樹です。戻込
みしそうな子どもでも、優
しく木登りに誘うその姿を
見込まれて、開校時に遠路
はるばる九州から運ばれて
きました。よじ登ったり、

飛び降りたりと、さまざま
な思い出が子どもたちの心
の中に残っています。そん
な「木登りの樹」ですが、あ
の強風には耐えられませ
んでした。
台風から二十八日目を迎
えた十月七日(月)、「木登
りの樹」とのお別れ会が行
われました。
「ずっとこの小学校で私
たちを見守ってくれたこと
を、これからも心の中に持
ち続け、大切にしていきた
いと思います」
明和会(児童会)の会長が
お別れの言葉を述べている
間、子どもたちは神妙な面

持ちで、横たわる「木登り
の樹」を見つめていました。
そして、これまでのお礼に、
皆で「さようなら」の歌を、
手話を交えて歌いました。
歌詞にあるように「いつま
でも、いつまでも、忘れず
に」いたい、という気持ち
を伝えました。



「木登りの樹」とのお別れ会

十月十七日(木)には、伐
採に向けた神事が執り行わ
れました。倒木となつて一カ
月以上が経つても青々とし
た葉が残っていました。樹
皮がつかつていたので、樹
皮が「木登りの樹」は生き続
けていたのです。そこで、
伐採後に掘り出す予定だつ
た切り株は、そのまま残さ
れることになりました。何
十年かかるか分かりませ

シンガポールからのお客さま
～南洋小学校の副校長先生が来校～

国際的な学習到達度調査
(PISA2015)の結果
が第一位の国、シンガポ
ール。そのシンガポールの名
門校「南洋小学校(Nanyang
Primary School)」から、十
月三日(木)に黄副校長、陳
副校長の二名が来校しまし
た。同校は、本校五年生が
毎年修学旅行で訪問してい
る学校です。

校内見学では、特に日本
の伝統文化への関心が高く、
小笠原流礼法授業に興味深
く見入っていました。その
ほか、聖徳祭に向けた練習
の様子や、オープンスペース
の教室、コンピュータ
授業、緑あふれる校庭を見
学しました。
昼食は、児童と一緒に本
校「食堂」で会食を体験し

ました。南洋小学校では、
シヨッピングセンターのフ
ードコートのような場所各
自が好きな食べ物を購入す
るスタイルのため、明
和班(異学年による縦
割り班)ごとに食べる
本校との違いに驚い
ていました。
各学年十三クラス
を有する南洋小学校
は、一学年で本校の
全校児童数を上回る
大規模な小学校です。
シンガポールでは、小
学三年生の時に英才
コースに入れるかど
うかが決まりますが、



コンピューター室にて

同校はそのコースの受け入
れ指定校になっています。
そのような学校との交流に、
今後も注目が集まります。

転んでも最後まで走りきつ
たかけっこ。友達と一緒に
隊形変化をしながら踊った
遊戯。約束を守り一所懸命
に頑張った競技。そして続
く五歳児年長組のマスゲー
ム「めざせ!宝島☆」では、
開始間際で雨粒が…。次第
に雨脚が強まる中、園児た
ちは必死に表現しました。



みんなで心を合わせて「めざせ!宝島☆」

取手聖徳女子中学校・高等学校

一、四年生 北蓼科高原体験学習

取手聖徳女子中学校・高
等学校の一年生(中一)から
四年生(高二)が、九月七日
(土)から十日(火)まで三泊
四日の日程で北蓼科高原体
験学習に参加しました。台
風の接近が心配される中
の実施となりましたが、ほ
ぼ天候に影響されることが
なく無事に終えることがで
きました。

四年生は地元の民芸品で
あるわら馬を製作しました。
細かい作業の連続に苦勞し、
時間を延長しながらも、一
所懸命に作っていました。

おもちや博物館では、ド
イツエルツ地方の伝統工芸
や木工おもちの展示を見学
しました。
体験学習でのさまざまな
経験を通して成長した生徒
たちは、学校生活においても
さらに実りある日々を過
こしていけることでしょう。



トウモロコシの収穫体験

それぞれ個性で立派なわ
ら馬が完成しました。
中学生はマスのつかみ取
りを体験しました。生きて
いる魚を初めて触る生徒も
多く、歓声や悲鳴を上げな
がら楽しんでマスをつか
まえていました。

バスハイクの日は、本校
としては初めて訪れる軽井
沢絵本の森美術館とエルツ
おもちゃ博物館を見学しま
した。絵本の森美術館には、
雰囲気の良いガーデンと建
物があり、さまざまな絵本
を見ることができました。



焼きそばおいしいよ!

Let's be colorful!

十月十四日(月・祝)と十六
日(水)、「Let's be colorful」
をテーマに第三十七回聖徳
祭を開催しました。台風
十九号の影響により日程変
更が生じましたが、無事に
二日間開催し、一般公開で
は約九百五十人のお客さま
が来場しました。

玄関や廊下は実行委員に
よってかわいらしい装飾が
施され、各教室にはクラス

ごとに趣向を凝らした模擬
店が開かれました。校内中
が華やかで、歩いているだ
けで楽しめる雰囲気満ち
ていました。
今年度も明和会(生徒会)
役員や実行委員が協働して
会議を重ね、生徒主体で企
画・運営しました。当日は
全生徒が聖徳祭を楽しめる
よう、準備や委員会の仕事
はすべて前日までに終えら

幼稚園短信

聖徳大学附属幼稚園
みんな頑張った!
秋季大運動会

十月十四日(月・祝)、秋
季大運動会を開催しました。
大型台風接近により延期と
なっていたため、例年以上
に園児と参加者の安全と環
境づくりに配慮しました。
当日は不安定な寒空のも
と、園児たちはクラス旗の
前に並んで集合しました。
多くのお客さまに囲まれて、
いつもと異なる雰囲気にな
りましたが、みんな元気い
っぱいに「エイエイオー!」と
空高く届くよう力と心を合
わせました。
転んでも最後まで走りきつ
たかけっこ。友達と一緒に
隊形変化をしながら踊った
遊戯。約束を守り一所懸命
に頑張った競技。そして続
く五歳児年長組のマスゲー
ム「めざせ!宝島☆」では、
開始間際で雨粒が…。次第
に雨脚が強まる中、園児た
ちは必死に表現しました。

雨はさらに強く降り、こ
れまでの成果を何とか披露
できるようにプログラムを
進行了ましたが、途中で中断
ざるを得ませんでした。し
かし園児たちは、体を動か
す喜びを味わい、「やればで
きる」という気持ちが育つ
たようです。
今後も園児たちが主体的
に遊びを広げ夢中になれる
よう、一人ひとりの育ちを
大切にしてまいります。

バルーンの技が決まるたび
に水しぶきが上がり、まる
で宝島を目指す冒険を演出
しているようでした。

聖徳大学附属第二幼稚園
園外保育(五歳児松組)
〜葛西臨海水族園〜

秋になると園外保育が学年ごとに行われます。十月十五日(火)、五歳児松組は葛西臨海水族園に行きました。幼稚園からはバスに乗って現地に向かいます。姉妹園である附属幼稚園と附属浦安幼稚園の松組も合同で実施し、現地で合流しました。到着すると、川並知子園長と一緒に記念写真を撮り、少し園内を歩き、お弁当を食べました。海が見えるテントデッキでシートを広げ、保護者手作りのお弁当を友達と見せ合いながら笑顔で食べていました。



大きな水槽にはどんな魚がいるのかな？

聖徳大学附属成田幼稚園
お兄さん・お姉さんと遊んだよ！

毎年、成田市立中台中学校三年生が家庭科の授業の一環で本園を訪問します。今年は十月九日(水)から十一日(金)にかけて三クラスが遊びにきてくれました。遊戯室に中学生と園児が集まり、中学生から合唱を披露してもらいました。圧倒的な歌唱力に、初めは驚いていた園児たちも、きれいな歌声に耳を傾け、熱心に聞いていました。その後クラスごとに分かれ、自己紹介をした後、園庭で元氣いっぱい遊びました。いつもは広く感じる園庭が狭く感じるくらい人が多く、



活気のある場になりました。お兄さんやお姉さんと一緒に遊ぶことがよほど楽しかったのか、その日は園児が教員のそばに來ないため、教員一同戸惑ってしまっていました。園庭では、走り回りながら「待ってー！幼稚園生っら」から「お兄さん、お姉さん、こっちは遊ぼう」という園児の活発な声がたくさん聞かれました。中学生が帰る頃「また明日も来る？」と園児が聞くと、中学生も「帰りたいくない」「楽しかった」と答えていました。

本園の卒園生がいたため、幼稚園時代についてインタビューしたところ、運動会、発表会、スイートポテトパーティーが楽しかったと話していました。幼稚園での思い出がいままで心に残ることを知り、今後の保育も心を込めて行おうと、教員一同決意を新たにしたり一日となりました。

十月二十五日(金)、ヤマト運輸株式会社協力の「交通安全教室」を実施しました。初めに、歩道や横断歩道の正しい歩き方についての紙芝居を見ました。子どもたちは「青信号になったら右・左・右を見てから、手を挙げて横断歩道を渡るんだよね」「青信号がチカチカしたら、横断歩道を渡ったらだめだよ」と話していました。その後、信号機や横断歩道の模型を設置した保育室で、安全に道路を歩くためのシミュレーションを行いました。年少・年中・年長が三人一組になり、「右・左・右」と声を出しながら横断歩道を渡る練習をしました。ヤマト運輸のマスコットキャラクタ、クロネコとシロネコも応援に駆けつけ、交通安全教室を盛り上げてくれました。上手にできたごほうびに本物の配達車に乗せてもらい、皆大喜びでした。

十月三日(木)に梅組(年中組)と桜組(年少組)が横浜市の「こどもの国」に遠足に行きました。子どもたちは前日から「明日は晴れるかな？」「ドングリはたくさん落ちてくるかな？」と待ち遠しい様子でした。こどもの国に着くと、「幼稚園よりお庭が広い！」「お花が咲いている！」と目を輝かせていました。桜組はその広い原っぱで「むっくらくまさん」や「おおかみさん今何時？」の集団遊びをし、思い切り体を動かして遊びました。広場の周りを探検してドングリを見つけると「緑のドングリもあるよ」「いろんな形の葉っぱがあるね」と秋の自然に興味を持っていました。その頃、梅組は園内散歩です。白鳥湖では「あれはアヒルかな？」「違うよ、白鳥だよ」と話していました。大きなクモやバッタを見つけて釘付けになっている子どももいました。おとぎの広場では、おとぎ話に沿った遊具や長い滑り台、ネット遊具などで遊びました。帰りのバスでは「また行きたいな」「おうちに帰ったらお母さんにたくさんお話ししてあげよう」と、楽しかった遠足の話で盛り上がりました。幼稚園にはない自然に触れ、遊具で遊び、子どもたちの興味や関心を深めることができました。



た。クレパスで好きな動物の顔に思い思いに目・鼻・口を描き、のりで動物の耳を付け、かわいらしい動物の被り物を作りました。幼児はうれしそくに頭に被り、いよいよミニ運動会が始まりました。『はとぽっぽ体操』の準備運動をしてから、順番に並んで「かけっこ」をしました。次の「玉入れ」では、親子でたくさん玉を投げ、籠に入ると手をたたいて喜んでいました。「大玉ころがし」では、大きなボールに驚きながらも保護者と楽しく転がしていました。『ぶにぶに体操』の踊りでは、自分で作った被り物の動物に変身して、全身で表現していました。サーキット遊びでは、ビーム(平均台)や跳び箱を使って体を動かし、楽しめました。最後に絵本の『のせてのせて』を見てから、「さよならのうた」を歌い、楽しいミニ運動会が終了しました。

遊びました。広場の周りを探検してドングリを見つけると「緑のドングリもあるよ」「いろんな形の葉っぱがあるね」と秋の自然に興味を持っていました。その頃、梅組は園内散歩です。白鳥湖では「あれはアヒルかな？」「違うよ、白鳥だよ」と話していました。大きなクモやバッタを見つけて釘付けになっている子どももいました。おとぎの広場では、おとぎ話に沿った遊具や長い滑り台、ネット遊具などで遊びました。帰りのバスでは「また行きたいな」「おうちに帰ったらお母さんにたくさんお話ししてあげよう」と、楽しかった遠足の話で盛り上がりました。幼稚園にはない自然に触れ、遊具で遊び、子どもたちの興味や関心を深めることができました。

聖徳大学附属浦安幼稚園
SEITOKU
オープンキンダー
ワールド
〜ミニ運動会をしよう〜

十月二日(水)、未就園児を対象に第十五回「SEITOKUオープンキンダーワールド」ミニ運動会を行いました。初めに保育室で「トントントンアンパンマン」の手遊び歌と、「さんぽ」「小さな世界」「うんどうかい」の歌を歌いました。絵本「りんごがドスン」を見た後は、踊りで使用する被り物を親子で一緒に製作しました。

理解しやすい言葉で話ができました。普段は見ることのできない海の生き物をたくさん見て関心を深め、友達と一緒に過ごすことの楽しさを感じられた一日でした。



玉入れ

「はとぽっぽ体操」の準備運動をしてから、順番に並んで「かけっこ」をしました。次の「玉入れ」では、親子でたくさん玉を投げ、籠に入ると手をたたいて喜んでいました。「大玉ころがし」では、大きなボールに驚きながらも保護者と楽しく転がっていました。『ぶにぶに体操』の踊りでは、自分で作った被り物の動物に変身して、全身で表現していました。サーキット遊びでは、ビーム(平均台)や跳び箱を使って体を動かし、楽しめました。最後に絵本の『のせてのせて』を見てから、「さよならのうた」を歌い、楽しいミニ運動会が終了しました。



大玉ころがし

聖徳学園八王子中央幼稚園
聖徳にこにこまつり

毎年十月の最終日曜日に「聖徳にこにこまつり」を開催しています。在園児はもちろん、卒園生や近隣住民も多く訪れてにぎわいを見せます。今年は十月二十七日(日)に行われ、父母の会の協力により、ホールには献品コーナーやゲームコーナーなどたくさんのお店が並びました。子どもたちは、保護者と一緒に手作り品を見て歩き、「何をかう？」「これかわいいね」「こっちは色がきれいだね」とあれこれ悩みながら、ホールを何周もしていました。二階の魚釣りや輪投げのコーナーでは、「釣れたよ！」「輪に入っちゃったよ！」「喜んでいました。久しぶりに幼稚園を訪れた卒園生たちも、幼稚園時代に戻ったかのように楽しく遊んでいました。模店コーナーでは、給食の

もちろん、卒園生や近隣住民も多く訪れてにぎわいを見せます。今年は十月二十七日(日)に行われ、父母の会の協力により、ホールには献品コーナーやゲームコーナーなどたくさんのお店が並びました。子どもたちは、保護者と一緒に手作り品を見て歩き、「何をかう？」「これかわいいね」「こっちは色がきれいだね」とあれこれ悩みながら、ホールを何周もしていました。二階の魚釣りや輪投げのコーナーでは、「釣れたよ！」「輪に入っちゃったよ！」「喜んでいました。久しぶりに幼稚園を訪れた卒園生たちも、幼稚園時代に戻ったかのように楽しく遊んでいました。模店コーナーでは、給食の

先生お手製のカレーライスやフランクフルト、綿あめなどを口いっぱい頬張りながらうれしそうに食べていました。父母の会と幼稚園が一体になって企画開催した一大イベント「聖徳にこにこまつり」。今年も皆で楽しみ、盛況のうちに終えることができました。



令和2年度 大学院(春学期入学) 入試日程

■ 聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講] 〈博士後期課程〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試 社会人入試 内部推薦入試 研究生入試	B	12月2日(月)～12月6日(金)	12月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 12月14日(土)・15日(日)
	C	2月17日(月)～2月21日(金)	3月1日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月29日(土)・3月1日(日)

〈博士前期課程〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試 社会人特別入試 内部推薦入試 研究生入試	B	12月2日(月)～12月10日(火)	12月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 12月14日(土)・15日(日)
	C	2月17日(月)～2月25日(火)	3月1日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月29日(土)・3月1日(日)

令和2年度 入試日程

■ 聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子) 〈AO入試〉

入試区分	日程	エントリー	受理通知の受領	出願	面談・プレゼンテーション
AO入試 大学・短大方式	V期	エントリーシート提出不要 出願から開始	—	3月2日(月)～3月10日(火) 正午 ※日曜・祝日を除く。土曜日は正午まで	3月12日(木) ※「面談」に加え、「作文」を実施。 「プレゼンテーション型」は実施せず。

※看護学部はAO入試を実施しない。

〈推薦入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
公募推薦入試 (看護学部を除く)	後期	11月18日(月)～12月3日(火)	12月8日(日)

〈社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
社会人特別入試 アスリート・セカンドキャリア 支援特別奨学推薦入試 アスリート・サポーター 特別奨学推薦入試 帰国子女特別入試	B	11月18日(月)～12月3日(火)	12月8日(日)
	C	2月20日(木)～3月6日(金)	3月11日(水)

※看護学部は、社会人特別入試A日程、B日程のみ実施する。

〈留学生入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
私費留学生特別入試 私費留学生特別奨学生入試	B	11月18日(月)～11月26日(火)	12月8日(日)
	C	2月20日(木)～3月2日(月)	3月11日(水)

〈編入学・専攻科入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試	B	11月18日(月)～12月3日(火)	12月8日(日)
内部推薦入試			
一般入試	C	1月31日(金)～2月14日(金)	2月18日(火)
内部推薦入試			
一般入試	D	2月20日(木)～3月9日(月)	3月11日(水)

〈一般入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試	A	12月20日(金)～1月21日(火)	1月26日(日)
サテライト試験場(一般)入試 (看護学部、音楽学部を除く)			
センター試験利用入試	A	12月20日(金)～1月28日(火)	本学個別学力試験なし 但し、児童学部児童学科スポーツ 健康コースの実技、看護学部の面接 および音楽学部の実技等2/2日

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
私費留学生 特別入試	B	12月2日(月)～12月6日(金)	12月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 12月14日(土)・15日(日)
	C	2月17日(月)～2月21日(金)	3月1日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月29日(土)・3月1日(日)

〈専門職学位課程〉(教職研究科)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試 社会人特別入試 現職教員特別入試 内部推薦入試	B	12月2日(月)～12月10日(火)	12月15日(日)
	C	2月17日(月)～2月25日(火)	3月1日(日)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試	B	1月31日(金)～2月14日(金)	2月18日(火) 本学個別学力試験なし 但し、児童学部児童学科スポーツ 健康コースの実技、看護学部の面接 および音楽学部の実技等2/18(火)
センター試験利用入試			3月11日(水) 本学個別学力試験なし 但し、児童学部児童学科スポーツ 健康コースの実技、看護学部の面接 および音楽学部の実技等3/11(水)
一般入試	C	2月20日(木)～3月9日(月)	3月11日(水) 本学個別学力試験なし 但し、児童学部児童学科スポーツ 健康コースの実技、看護学部の面接 および音楽学部の実技等3/11(水)
センター試験利用入試			3月12日(木)
実技特別選抜入試 (音楽学部 音楽学科のみ)		3月2日(月)～3月9日(月)	3月12日(木)

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子)〈AO入試〉

入試区分	日程	エントリー・願書受付期間	面談日
AO入試	前期	D 11月11日(月)～11月29日(金)	12月1日(日)
		E 12月2日(月)～12月13日(金)	12月14日(土)
	後期	A 1月7日(火)～1月17日(金)	1月18日(土)
		B 1月27日(月)～2月14日(金)	2月15日(土)
	C	2月25日(火)～3月13日(金)	3月14日(土)

〈前期・後期入試〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
指定校推薦入試 公募推薦入試 保育所・幼稚園園長推薦入試 同窓会推薦入試 大学生・短大生 (含専修学校)特別入試 ダブルスクール特別入試 社会人特別入試 一般入試	前期	D 11月11日(月)～11月29日(金)	12月1日(日)
		E 12月2日(月)～12月13日(金)	12月14日(土)
	後期	B 1月27日(月)～2月14日(金)	2月15日(土)
		C 2月25日(火)～3月13日(金)	3月14日(土)

■ 聖徳大学附属女子中学校・高等学校

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中 学	第一志望入試 帰国子女入試	Web 11月1日(金)～11月30日(土)	12月1日(日)
	第1回入試	Web 12月2日(月)～1月19日(日) 窓口 入試日当日のみ	1月20日(月)
	第2回入試	Web 12月2日(月)～1月20日(月) 窓口 入試日当日のみ	1月21日(火)
	第3回入試	Web 12月2日(月)～1月21日(火) 窓口 入試日当日のみ	1月22日(水)
	特待生選考入試	Web 12月2日(月)～1月23日(木) 窓口 入試日当日のみ	1月24日(金)
	第4回入試	Web 12月2日(月)～2月3日(月) 窓口 入試日当日のみ	2月4日(火)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
高 校 (普通科・音楽科)	前期入試	推薦入試 Web 12月17日(火)～1月11日(土)	1月17日(金)
		一般入試 Web 12月17日(火)～1月18日(土) チャレンジ入試	1月19日(日)
	後期入試	一般入試 Web 12月17日(火)～2月4日(火)	2月5日(水)

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中 学	第1回一般入試 兼 学力特待選考入試	郵送 10月21日(月)～12月6日(金) 窓口 10月21日(月)～試験日当日(8:00まで)	12月7日(土)
		郵送 10月21日(月)～12月25日(水) 窓口 10月21日(月)～試験日当日(8:00まで)	1月6日(月)
	第2回一般入試 兼 学力特待選考入試	郵送 10月21日(月)～1月17日(金) 窓口 10月21日(月)～試験日当日(8:00まで)	1月18日(土)
		郵送 10月21日(月)～1月27日(月) 窓口 10月21日(月)～試験日当日(8:00まで)	1月28日(火)
	第3回一般入試 兼 学力特待選考入試 特別進学コース選考 探究型入試 駅伝入試 吹奏楽入試	郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月9日(木)
		郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月16日(木)
高 校	併願推薦型入試 兼 学力特待選考・ 特別進学コース選考 探究型入試 駅伝入試 吹奏楽入試	郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月18日(土)
		郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月18日(土)
	一般入試 兼 学力特待選考・ 特別進学コース選考 探究型入試 駅伝入試 吹奏楽入試 帰国子女入試	郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月18日(土)
		郵送 12月11日(水)～12月25日(水) 窓口 12月11日(水)～12月12日(木)	1月18日(土)

■ 聖徳大学附属小学校(共学)

入試区分	願書受付期間	入試日
Ⅲ期入試	11月19日(火)～12月4日(水)	12月7日(土)
Ⅳ期入試 編入(1学期～)	12月10日(火)～1月8日(水)	1月11日(土)

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

■ 通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ:047-365-1200(直通)

聖徳大学通信教育部 入学説明会のご案内

聖徳大学通信教育部では、大学院・大学・短期大学部すべてにおいて、入学説明会を開催しています。通信教育での学習の仕方や皆さんが疑問に思われていることについて、直接お答えします。予約は不要です。ぜひ、ご都合の良い日程の説明会にご参加ください。

本学キャンパスでの説明会では、在学生・卒業生の体験談、スクーリング模擬授業、キャンパスツアーなども実施しています。開催日ごとに内容が異なりますので、詳細はホームページ「NEWS」でご確認ください。

◇ 聖徳大学主催 入学説明会【松戸キャンパス】

開催日	開催地	開催時間(予約不要)	開催場所
12月1日(日) 1月12日(日)	本学キャンパス (松戸)	13:00～15:30	聖徳大学松戸キャンパス1号館・香順メディアホール (JR・新京成電鉄松戸駅東口から徒歩5分)

◇ 聖徳大学主催 入学説明会(個別相談)

開催日	開催地	開催時間(予約不要)	開催場所
12月14日(土)	静岡	11:00～15:00	JR静岡駅ビルバルシェ 7階第1会議室 (JR静岡駅直結)
12月15日(日)	千葉	11:00～15:00	ペリエ千葉 7階ペリエホールD・E室 (JR千葉駅東口直結)
12月21日(土)	大宮	11:00～15:00	大宮ソニックシティ 7階707室 (JR大宮駅西口から徒歩3分)
12月22日(日)	東京	11:00～15:00	東京国際フォーラム ガラス棟6階G602室 (JR有楽町駅から徒歩1分)
1月18日(土)	水戸	11:00～15:00	水戸駅ビルエクセル 6階エクセルホールひたち (JR水戸駅直結)
1月18日(土)	横浜	11:00～15:00	AP横浜駅西口 4階B会議室 (JR横浜駅西口から徒歩6分)
1月19日(日)	大宮	11:00～15:00	大宮ソニックシティ 9階904室 (JR大宮駅西口から徒歩3分)
1月19日(日)	千葉	11:00～15:00	バーディーホテル千葉 2階会議室 (JR千葉駅西口から徒歩1分)

※お車でのご来場はご遠慮ください。 ※個別相談会は終了時間の30分前までに入场ください。

※大学院博士後期課程をご希望の方は事前にお問い合わせください。

TEL.047-365-1200(月～金 8:30～17:30、土 8:30～15:00)

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。
今後も内容の充実に努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

〈郵送〉〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
〈インターネット〉https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人

東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第105号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

19.12.1 ret (13,12)

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811(代)

オープンキャンパス ▶12月15日[日] 10:00～ ▶令和2年1月19日[日] 10:00～ ▶2月22日[土] 14:00～
ナイトキャンパスツアー ▶12月3日[火] 18:00～ ▶令和2年1月16日[木] 18:00～

■ 聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会〔高校〕▶12月7日[土] 9:30～
〔中学校〕▶令和2年1月5日[日] 9:30～ ▶2月15日[土] 9:30～ ▶3月14日[土] 9:30～
個別相談会〔高校〕▶12月7日[土] 9:30～
〔中高共通〕▶12月21日[土] 9:30～13:00 ▶12月22日[日] 9:30～13:00
〔中学校〕▶12月14日[土] 9:30～ ▶令和2年1月5日[日] 9:30～ ▶2月15日[土] 9:30～
▶3月14日[土] 9:30～
音楽科冬期講習会〔高校〕▶12月26日[木]～12月28日[土]

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:0297-83-8111(代)

音楽講習会 ▶12月25日[水] 9:30～15:00
学校説明会 ▶令和2年2月15日[土] 9:30～(中学1・2年生対象)
▶2月22日[土] 9:30～(中学1・2年生対象)

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ:047-392-3111(代)

学校説明会(2021年度募集) ▶令和2年1月18日[土] 10:00～11:30(新年長対象)

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート
長野県佐久市春日 2258-1

ご予約はお電話にて 電話:0267-52-2111
宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。
http://www.kasuganomori.com/

かすがの森

SAKU BLOOMイルミネーション2019のご紹介

開催日時: 令和元年10月6日(日)～令和2年1月5日(日)
開催場所: ミレニアムパーク(佐久平駅蓼科口隣)
点灯時間: 午後5時～11時

JR佐久平駅に隣接するミレニアムパークを彩る冬の風物詩。「佐久の美しい星空」をコンセプトに、今年は「The way to the Future～未来への旅～」をテーマに展開します。長野県内で最大規模となる約50万球のLED電球を使用した立体的なイルミネーションが、見る者を幻想的な世界へと誘います。ぜひお立ち寄りください。



写真提供: 佐久市観光協会

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門 1-1-20

0120-525-126 般 13-300726
13-ユ-300913